

令和7年度 第2回萩市立図書館協議会 議事録

令和8年2月9日(月)

11:00～12:00

会場 萩市立須佐図書館

出席者

協議会委員 村田麻美委員・杉山恵子委員・有田真美子委員
(7名) 土山政子委員・浅井智子委員・井上仁奈子委員
岡崎祐介委員

教 育 長 池田教育長

事 務 局 教育委員会事務局 岸田事務局長

萩図書館 武安館長・森岡副館長・五嶋主任主事

須佐図書館 豊田館長・村木主任主事

明木図書館 池永館長・市原司書

田万川中学校図書館 宮内館長

学校教育課 西山指導主事

NP0 萩みんなの図書館 江山理事長

大草副理事長

伊藤事務局長

1. 開会のことば(豊田館長)

本日は育英小学校で開催した3代目まなぼう号のお披露目式にご出席いただき感謝する。ただ今から令和7年度第2回萩市立図書館協議会を開催する。本日は忌憚のないご意見をいただくようよろしくお願いします。

2. 教育長あいさつ

委員の皆様には、先ほどの須佐図書館の移動図書館まなぼう号のお披露目式にご出席いただき感謝する。この車両の導入により須佐、田万川地域において、きめ細かな移動図書館サービスが今後展開できるものと期待をしている。本日お越しいただいた須佐図書館の他、萩図書館、明木図書館、田万川中学校図書館も地域の拠点として、それぞれが特色ある活動を実施し、「萩市ひとづくり推進計画」の指針に基づき、計画の達成に向け、様々な読書推進に取り組んでいる。

萩図書館においては、開館15周年を迎え記念行事を実施した他、8月31日に来館者400万人を達成し、記念セレモニーを実施した。入館ゲートの更新、老朽化した外部木格子や駐輪場の塗装を実施した。

また、明木図書館は、本年4月に10周年を迎える。4月には記念事業を実施する予定としている。須佐図書館では空調工事が完了し、引き続き読書環境の充実を図っていく。

さらに学校における読書活動の推進を図るため、学校と連携し、出前講座として図書館司書が学校へ出向き、学校図書室のリニューアルや読み聞かせ、ビブリオバトル、ブックトーク、電子

図書館の活用等、読書推進に係る支援を実施し、多くの学校で活用していただいている。
本協議会において、委員の皆様には忌憚のないご意見を願います。

3. 会長あいさつ（森岡副館長代読）

本日はお忙しい中、図書館協議会にご参加いただき感謝する。委員の皆さんには、育英小学校で行われた須佐図書館の移動図書館まなぼう号のお披露目式にもご出席いただき、感謝する。萩市内初の軽自動車の移動図書館車はいかがでしたか。本日、地元の須佐で開催の図書館協議会に参加できないことを大変残念に思っている。これから始まる図書館協議会が、岡崎副会長のもと、実りある会議になることを祈っている。どうぞよろしくお願いする。

森岡副館長 それでは規定により、議長は会長が当たることになっているが、会長欠席のため、岡崎副会長、議事進行をよろしくお願いする。

4. 議事

議長 議事について、事務局からの説明後に議事（１）議事（２）併せてご意見をいただきたい。
議事（１）「電子図書館の利用状況について」事務局より説明をお願いする。

武安館長 紙媒体ではなく、電子図書という形で本を提供するサービスを、なかなか図書館に来ることができない、また本が読みにくい方々に対して、全国的にどこの図書館も始めている。萩市は平成２２年から始めて、全国でも３番目だったと思うが、今の萩図書館が新しくリニューアルした際に県内に先駆けて電子図書館に取り組んでいる。現在県内では、山口市、柳井市、長門市は未実施。コンテンツ数で一番多いのは下松市で１４，０００冊余、萩市は３，８００冊程度。ただ、電子図書は著作権の関係で非常に高額で予算の都合上、なかなかコンテンツ数が伸びない現状にある。現在萩市はニーズが多い紙を主体に書籍を購入しているが、今後は電子図書を購入する予算を増やしていきたいと考えている。また、読み放題コンテンツは新しいシステムで、何人もの方が同時にアクセスできるため予約待ちが無い。主に児童書と雑誌が取り組まれている状況。将来的に萩市も読み放題コンテンツに取り組んでいきたいと考えている。これにより、ＩＣＴ教育が進んでいる各学校でタブレットを使い、学校の先生や図書館司書が紹介した本を、クラス全員の子が同時に同じ電子図書を借りることが出来るようになる。萩市の電子図書館の普及状況は、平成２２年当初は電子図書館の登録者はわずか９７人。令和３年に市内小中学校全員に電子図書館ＩＤを交付する事業を始めて登録者が３，０００人を超え、令和６年度には４，０００人台まで増えている。閲覧数についても１３，０００件と伸びており、特に小中学生の閲覧件数が年々伸びている。これは学校教育課を通じて各学校に電子図書館の仕組みを紹介するとともに、ＮＰＯ萩みんなの図書館の司書が出前講座として学校に出向いて利用方法を紹介し、電子図書館の普及を図っており、今後も続けていく。今、子どもたちが本を読まない、読めない環境にあると言われているが、子ども達が読みたい本を借りることができる仕組みが分かれば、将来大人になって図書館に行くことが出来なくても借りることができる電子図書館は有効な手段だと思う。さらに電子図書館は地域に関係なく市内に在住であれば誰でも利用できる場所も大きなメリット。委員の皆さんにもぜひご利用、普及をお願いしたい。

議長 議事（２）「活字離れをくい止めるには」について、前回の図書館協議会で各図書館から

行事や出前講座など、活字離れをくい止めるための取り組みを説明していただいたが、委員の皆様からご意見をお聞きする時間が取れなかったため、改めて委員の皆様からご意見をお願いする。先ほどの議事（１）（２）も併せて一人ずつご意見、ご質問を準にお願いする。

委 員 先ほどの「この本いいよ」と紹介されて全員が読めるのは良いと思った。昔は考えられなかった。２週間経っていつまで待つんだろうと思っていた。

武安館長 そういった意見を多数聞いていた。各学校に行った時も、子ども達に紹介した本の予約が殺到するのがネックだった。

委 員 児童書だったらそういうことも無くなるから良い。活字離れも生活環境だと思う。親がスマホばかり見ている暮らしの中では読書習慣は生まれない。父が読んでくれた本の次の頁をめくる時のわくわく感や間がすごく楽しみだった。

委 員 活字離れについて、須佐図書館の図書申込用紙の様に、本の紹介があると忙しくても興味があれば読んでみたいと思う。もっとＰＲができれば一度活字から離れてもまた読みたくなるのではないかと思う。

委 員 電子書籍とデジタルコレクションの違いは何か。

武安館長 電子書籍は本をデジタル化したもの。デジタルコレクションは市が所有している閉架書庫にあるような普段読むことのできないような古い本や郷土資料等をＮＰＯ菰みんなの図書館にお願いしデジタル化した菰市独自の資料。誰でも閲覧できるので見ていただきたい。

委 員 活字離れはスマホが凄く弊害をもたらしているのではないかと思う。それと、保健推進協議会等の読み聞かせで、同じ本を何回読んであげてもいいよと伝えるが、お母さんは子どもが本に興味を示さないと、本が嫌いなんだとすぐに割り切ってしまう、お母さんが本から離れてしまう。最初に出会う乳幼児の本は言葉の獲得で大事だからお母さんも一緒に一生懸命聞いてほしいと伝えるが、その事がお母さんに届かない。活字離れの問題は子どもにとって大事なので保健推進協議会の活動としてもおはなしの時間を増やしたりして本の大切さを伝えている。

委 員 電子図書について、今の子どもは扱いに長けているのでこれからはどんどん必要になっていくように感じている。また、図書館で本を借りて本を汚してしまった話を聞くと、その場合、本は自分が弁償しないといけないのか。

武安館長 司書はある程度の修復技術を習得しているので、修復可能であれば弁償は発生しない。ただ本がちぎれて破片が紛失した等まったく修復不可能となれば弁償をしていただくようになる。汚損破損があればそのまま図書館に持ってきていただき図書館で判断させていただきます。

委 員 汚損破損のおそれがないためにも電子図書は有効かもしれない。活字離れについては、実体験で講演を聞いた後に本を持ってきているのでどうぞと紹介されて本を読み返すことが出来たのは、想像が一段と膨らんでとても良かった。読み聞かせも想像力を豊にするため活字離れの一つの対策としていいと思う。ボランティアが読み聞かせるのも良いが、物語を実際に行った方が読み聞かせをするような場があれば一番いいと思う。

委 員 学校で配布されている電子図書館のＩＤを紛失した場合はどのようにしたらいいか。

武安館長 学校の先生に電子図書館の利用方法を周知しているのでまずは学校の先生にご相談してほしい。また学校枠で登録しているＩＤではなく、個人的に登録することもできる。

委 員 明倫小学校の読み聞かせを８年ぐらいしている。読み聞かせはとてもよく聞いてくれる。小さいころから親が読んで育てた子とそうじゃない子では本に対する興味が全然違う

と思う。子どもによっても違うかもしれないが、小さいころから学校で読書する時間がもっとあれば読むようになるのではないかなと思う。

委員 子どもさんをお持ちの方や高齢者は図書館まで行って本を借りたり返したりしにくいので、電子図書館は音読する機能も入っていて、何かをしながらや目が疲れた時とかに有効。活字離れとしては、萩図書館でも週間でなくても月別で児童書等の種別ごとにベストセラーや本の内容を展示すると本に興味を湧くと思う。

議長 西山先生に質問だが、学校の中での図書館利用の機会や、電子図書館のＩＤを無くしたときのフォローや何か取り組みがあれば教えてほしい。

西山指導主事 小学校は読書の時間をとられている学校が多いので低学年等学校図書館を利用しているケースが多いと思うが、中学校は授業の関係等でなかなか利用が普及していないのが現状。いただいたご意見を参考に喚起等しっかりやっていきたい。

議長 電子図書館の取り組みが他市に比べて１０年早い但他市よりコンテンツが少ない。導入時期が早いがゆえにシステム上難しいとかあるのか。

武安館長 電子書籍は今流行りのものを電子化してすぐ図書館が使えるかという著作権の問題でなかなか難しい。それと萩市は高齢化が進んで電子媒体の利用が少ないため、紙重視で購入してきた。電子図書も一つの単価が非常に高額なため沢山買うと紙書籍が買えなくなってしまう。どこの市も抱えている状況だが予算が取れた市はコンテンツを増やすことが出来るし予算が確保できない市は増やせない状況がある。今後については読み放題等で、コンテンツを増やす努力をしていきたい。

議長 下松市や宇部市は１０，０００コンテンツを超えているがそれぞれの市の予算でしているのか。

武安館長 各市の規模に応じて予算が違ってくる。大きな市は多くの電子図書費の予算がつく。

教育長 活字離れということで、萩市の読み聞かせの歴史は県内でも最初だったと思う。椿東小学校のすずかけの会が山口県でもトップだったと記憶している。今、すべての小学校で読み聞かせが根づいており、その環境は素晴らしいが年齢が上がるに従って途切れてしまう。教育委員会としては学校と図書館の連携に力を入れて、子ども達に学校図書館を利用してもらえるように、ＮＰＯ萩みんなの図書館の司書に学校へ行っていただき、子ども達が本を読もうと思えるように学校図書館の環境を整備している。また、ビブリオバトル書評合戦をやる学校があるが、日頃本を読まない子ども一人一人が体験できるように全市的に行いたいと西山指導主事や館長、ＮＰＯ萩みんなの図書館の方々と一緒になってそういう動きを作っていきたいと考えているのでご協力いただきたい。

議長 以上で議事については審議を終えた。

５．報告

議長 「須佐図書館の現状について」須佐図書館からの報告をお願いします。

豊田館長 令和６年７月に須佐図書館の利用促進拡大を目的として、開館時間に限らず蔵書の内容や図書館サービスについてアンケートを実施した。その結果をもとに令和７年から取り組みを行って、令和８年度に向けて検討してきた。その中で一番大きな変更点である開館時間の変更を令和７年８月１日から行った。それまでの開館時間９時半から１８時を、火・水・木・土・日曜日については９時から１７時半に、金曜日は１１時半から２０時に変更し現在試行期間として開館して令和８年７月までのあと半年間行う。ご意見箱の設置や、入館人数や時間帯の人数などのデータを取り、開館時間等を検討していく。入

館者数については過去のデータが無かったため、今回の試行期間からデータを取り、現在半年で2,200名の入館があった。貸出冊数は前年に比べ300冊程度増えている状況。また今回、まなぼう号の貸出冊数も記載している。昨年と同程度の状況だが、移動図書館まなぼう号のお披露目式を行い、今日からステーションごとに2回に増やすので若干伸びてくるかと期待している。

村主任主事 令和7年度の取り組み状況だが、展示企画イベントは萩警察署や東包括支援センターとのコラボ企画、須佐図書館独自の企画をしている。学校連携企画としては今年初めて「ARTな須佐中」～ホルンフェルスや男命いかなどの「須佐の魅力」を缶バッジやバッグに仕上げた作品展を行った。また、須佐中2年が「企業への筆談ボード」製作等を行った。その他、アンケートを取った中で図書館のPR不足との指摘があったため、最近入った本の内容を記載した「図書申込用紙」を総合事務所、公民館等に設置し図書館以外の図書貸出窓口として、地域の皆さんに好評をいただいている。来年度は田万川地域での実施も考えている。

豊田館長 アンケートを受けて、身近な利用しやすい図書館を目指している。

議長 報告いただいた件については、各々お考えいただき、後日ご意見があれば須佐図書館までお願いします。

6. その他

議長 その他について、事務局から何かあればお願いします。

NPO 江山理事長 図書館の現状については事務室の各委員のボックスにチラシを入れているのでご覧いただきたい。最近は職員が積極的にイベントを提案していて、申込もすぐに定員に達している状況。委員の皆様についてもチラシを見て早めに申し込めるとありがたい。

7. 閉会のことば（宮内館長）

まなぼう号のお披露目式に続いての図書館協議会での協議に感謝する。本日議題として上げていた活字離れについては来年度以降も引き続き協議事項になるかと思う。来年度の協議会についても引き続きご協力ご支援、ご助言をお願いします。本日は東部地域までお越しいただき感謝する。また機会があれば田万川中学校までお越しいただきたい。それでは、以上を持ちまして、令和7年度第2回萩市立図書館協議会を閉会する。